最後にもう一つ、上田城跡に行きました

西櫓/江戸時代建立当初のもの

南櫓/昭和時代再建

遠方は南櫓

西櫓

西櫓

西櫓

長野県宝 上田城三櫓（南櫓・北櫓・西櫓）

種　別 建造物
所在地 上田市二の丸
指定年月日 昭和34年11月9日

上田城は、真田昌幸によって天正11年（1583）から築城が開始された平城である。城郭自体の規模はさほど大きくはないが、南方は千曲川の分流である尼ケ淵に面した断崖に臨み、他の三方は城下町と河川を巧みに配して、周囲一帯を極めて堅固な防御陣地としている。この上田城の特性は、天正13年(1585)と慶長5年(1600)の2回にわたる徳川氏との合戦の際に遺憾なく発揮され、真田氏と上田城の名は天下に鳴り響いたのである。

しかし、真田氏の上田城は、関ヶ原の合戦後に徹底的に破却され、現存する上田城の隅櫓や石垣は、寛永3～5年(1626～28)にかけて仙石忠政によって新たに築き直されたものである。

仙石氏による上田城再築は、忠政の病死により中絶し、堀や石垣などの普請（土木工事）は完成したものの、櫓や城門を建てる作事(建築工事)は本丸のみの未完成に終わった。本丸には、天守は建てられず、7棟の二層隅櫓と2棟の櫓門が建てられたことが、絵図などの記録と発掘調査によって確認されている。上田城は仙石氏の後、松平氏によって受け継がれ明治維新を迎えた。

現存する3棟の隅櫓のうち、本丸西虎口（城郭の出入口）に建つ1棟（西櫓）は、寛永期の建造当初からのものであるが、本丸東虎口の2棟（南櫓・北櫓）は、明治初期に民間へ払い下げられ、市内に移築されていたものを市民の寄付により買い戻し、昭和18～24年にかけて現在の場所に復元したものである。これら三棟の櫓は、江戸時代初期の貴重な城郭建造物として、昭和34年に長野県宝に指定された。

三櫓の構造形式はいずれも共通で、二層二階、桁行五間、梁間四間の妻入り形式である。屋根は入母屋造りで、は本瓦を葺き、外廻りは白漆喰塗籠大壁で、腰下見板張り、内部は白漆喰塗りの真壁となっている。窓は白漆喰塗りの格子窓で、突き上げ板戸が付いている。

なお、本丸東虎口櫓門と袖塀は、明治10年頃に撮影された古写真と、石垣の痕跡、発掘調査の成果などをもとに、平成6年に復元したものである。櫓門と同時に整備された本丸東虎口の土橋には、両側に武者立石段と呼ばれる石積が設けられ、本丸大手口としての格式を示している。

平成11年3月　上田市教育委員会

正面左手は北櫓/昭和時代再建、右手は櫓門/平成時代復元

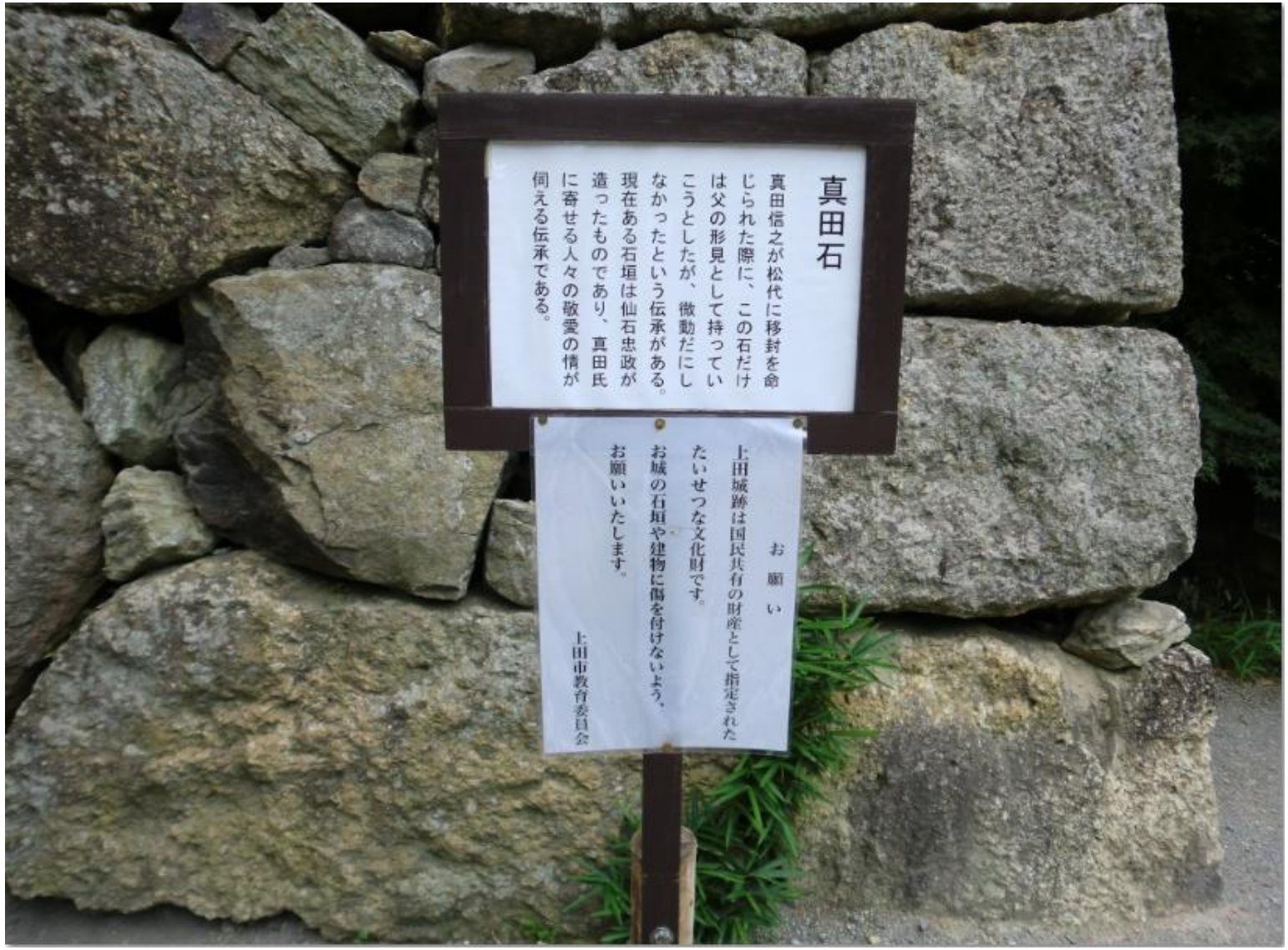
ここが上田城本丸跡

北櫓

左手は櫓門、右手は南櫓

櫓門

左手は南櫓、右手は櫓門


真田石
真田信之が松代に移封を命じられた際に、この石だけは父の形見として持っていこうとしたが、微動だにしなかったという伝承がある。現在ある石垣は仙石忠政が造ったものであり、真田氏に寄せる人々の敬愛の情が伺える伝承である。
お願い
上田城跡は国民共有の財産として指定されたたいせつな文化財です。
お城の石垣や建物に傷を付けないよう、お願いいたします。
上田市教育委員会

信州上田城
一意専心
真田幸村
真田十勇士

上田公園プール
Swimming Pool
招魂社
Shokonsha
二の丸
Second Castle Court
ゲートボール場
Gateball Court
愛の鐘
Ainokane Hour Bell
東テニスコート
East Tennis Court
お手洗い
Rest Room
けやき並木遊歩道
Zelkova Tree Promenade
お堀 Inner Moat
山本鼎記念館
Kanae Yamamoto
Memorial Museum
市立博物館
Ueda City Museum
平和の鐘
Heiwanokane Hour Bell
西虎口
Entrance
本 丸
Main Castle Court
北櫓
North Tower
二の丸橋
Ninomaru Bridge
二の丸
東虎口
Outer East Entrance
真田石
Sanada-ishi Big Stone
お手洗い
Rest Room
駐車場
Parking Area
東虎口櫓門
Restored East Gate
現在地
西虎口
West Entrance
真田神社
Sanada Jinja
井
真田井戸
Sanada Well
Garden
西櫓
West Tower
南櫓
South Tower Historic Museum
尼ヶ淵
市民会館

真田神社

智恵の神社

眞田神社の由緒

当社は戦国時代の天正十一年
(一五八三)上田にこの平城を築き
城下町を造った真田父子を主神
とし、江戸時代に民政に尽くした
仙石・松平の歴代藩主を祭神と
する、神社であります。
殊に十数倍の大軍を二回に亘り
撃退して日本一の智将と謳われた
真田幸村の神霊は、今も智恵の
神様として崇められています。

眞田神社

rine
all the past of
he Sanada clan.
latsudaira clan.
ons built Ueda
e town in 1583
goku (Warring
of Sengoku and
otional job of
and maintaining
Yukimura Sanada.
o be the most
pan for twice
that were more
s troops, and so
God of wisdom.

酒樽の茶室

正面が社殿

奉納
参拝

渡廊

真田赤備え兜

「真田赤備え兜」

二度にわたり徳川の大軍の攻撃を退けた真田の「智勇」は天下に轟き大阪夏の陣において武具を赤で統一した「真田赤備え」部隊を率いた真田幸村公がかぶった朱色で鹿角型の兜が「赤備え兜」です。幸村公は「愛」と「義」の捨て身の活躍で「日本一（ひのもといち）の兵（つわもの）」と称されました。自ら信じる道を民とともに歩んだ真田一族の熱き「和」と「仁」の心、真田魂が宿る真田杉の切り株を「赤備え兜」がお守りしています。

真田神社奉賛会

御神木眞田杉由緒

信州上田城は信州眞田藩眞田幸隆侯の後継者眞田昌幸公によって天正十一年（一五八三）に築かれ、息子眞田幸村や城下の住民らの活躍も有って徳川の大軍を二度にわたって退けた名城として、歴史にその名をとどめております。

かつて城址には老杉が林立しておりましたが、今は数本を残すのみとなりました。その内の一本が大風等により倒木の恐れがあり、伐採やむなきにいたりました。年輪を数えましたところ、四百五十年に及び、まさに築城当時より眞田三代を始め仙石、松平とこの城の栄枯盛衰を見てきた老木であることが判明いたしました。

上田城と眞田三代の歴史であり「心と魂」でありますこの杉を、なにかの形で後世に残そうと その切り株を「赤備え兜」で風雨から守り御札、表札等各種木製品を記念に制作した次第です。

時あたかも、上田城本丸に鎮座し、代々の城主をお祀り申し上げます眞田神社では平成の大修理に着手しております。この時に当たり、ご寄進頂きました篤信の方々や参拝の皆様に老杉の材をもって作りました品をお分けすることにいたしました。

眞田魂はふるさとの大自然の智恵、人やいのちを全て愛し助ける仁愛、逆境に立ち向かう勇気の「智、仁、勇」の三つとその基となる「愛と和と義」の六つの六連魂で出来ています。長く城を見守りました大樹をもって作りました品にはこれらの眞田魂が宿っております。

ご尊家の繁栄をお守りし、ご子孫の宝となると存ずる次第です。

上田市
Ueda City
上田菅平
I.C
▲太郎山
1164m
テクノさかき
にしうえだ
18
ささらの湯
▲子檀嶺岳
1223m
川野浦
143
アイリスの郷
大法寺(国宝)
青木村郷土
美術館
道の駅 あおき
▲十観山
1284m
くつろぎの湯
田沢温泉
青木村
Aoki Village
常楽寺
安楽寺国宝
▲夫神岳 1260m
別所温泉
沓掛温泉
リフレッシュ
パークあおき
北向観音
上田電鉄別所線
上田創造館
マルチメディア
情報センター
生島足島神社
うえだ
信濃国分寺
しなの
こくぶんじ
上田
ハーブ橋
信州国際
音楽村
上田
ローマン橋
延命地蔵堂
無言館
信濃デッサン館
前山寺
独鈷温泉
中禅寺
塩野神社
塩田の館
龍光院
塩田城跡
152
岩谷堂
あさつゆ
丸子公園
平井寺トンネル
▲独鈷山
1266m
小屋坂トンネル
丸子郷土
博物館
254
虚空蔵堂
文殊の湯
ファハウスかけゆ